

地域園芸クラブの活動と自然観察学習園のあゆみ

晴明丘小学校の自然観察学習園は、西運動場の一角にあります。

小学校創立100周年を記念事業の1つとして、当時PTAをはじめ児童、教職員、そして地域の方など沢山のボランティアの方々の手によって、全くの手づくりで完成しました。



自然観察学習園

以来、この「自然観察学習園」は季節の花や野菜、昆虫の観察ができ、5年生で田植えから稲刈りまでの体験をする児童の学習の場として活用されています。

地域園芸クラブは、潤いある自然観察学習園の維持・管理のお手伝いを、ボランティアで協力し、小学校課程の教科書で学ぶ植物が、遠くに行かなくても学校内ですべて観察することができるようになることを目標とし、子どもたちが実際にふれあえるよう心を配りながら楽しい活動を行なっています。

I. 自然観察学習園ができるまで

「自然にふれて、生命の尊さを理解できる子どもたちに」との願いをこめた自然観察学習園(以下、観察園)の建設は、西運動場で老朽化していたフィールド・アスレチックのところで、平成9年(1997)よりはじまり、腐食した廃材の処理や樹木の撤去作業ののち、平成12年(2000)になると新しい土やじやりを運び入れ、田んぼができ、観察園での米作りがはじまります。木々や草花の植栽がはじまるのを機にPTAと地域には回覧板で広く、百周年記念実行委員会より「自然観察学習園併設園芸クラブ」と称したクラブ員の募集が行われました。

- ① 学校の植栽計画と連携しながら、潤いある園芸活動を行う。
- ② 互いの親睦を高めながら、作物の栽培だけでなく広く児童の学習

活動に参加したり、学習園全般の環境保全にも協力していくことを目的とし、「晴明丘小学校地域園芸クラブ」が結成されます。池や川も自分たちでコンクリートを練り、作り、木々を植え、草花の苗や球根の植え付けをしました。10月には初めての稲刈りがあり、記念式典では観察園の初収穫の「丘のたんぼの稲」として配布されました。

こうして平成13年1月20日に記念式典が催され、「自然観察学習園」竣工の日を迎えます。学校、PTA、地域園芸クラブで観察園の管理と植栽計画などが話し合われる「自然観察学習園運営委員会」も発足され、耐久的な存続をめざすこととなります。



・これまで、のどがかわいたからお茶を飲むという感覚だったけれど、今回のお茶の学習で試飲をしたときに、初めてお茶を楽しむことができました。お茶の葉をさわったとき、どれもにおいをかぎました。ぼくは、てんぢやとほうじ茶のにおいが気に入りました。(Iさん)

・お茶はいつもあたりまえのように飲んでいますが、本当はたくさんの人の手によって作られていることが分かり、とても勉強になりました。(Tさん)

・園芸クラブの方がていねいにお世話をしてくれていたので、お茶もとてもおいしくあたたかみがあるものです。家族に話すと興味深く話を聞いてもらい、私もとてもうれしかったです。今度また様々なお茶をいれて飲み比べをしてみたいものです。(Yさん)

・お茶の種類がいっぱい、においをかいだりさわったりしてよくわかりました。紅茶、ウーロン茶など、全部同じ木からできていたのは知らなかったです。(Kさん)



・とてもおいしかったです。あの「宇治茶大好き」という本もとても勉強になりました。記念にもらったお茶の葉は、おし花(葉?)にしてしおりにしたいと思っています。ありがとうございました。(Sさん)

番外編: 境へ！ 大人の遠足



平成31年2月28日(木)

自然観察学習園で育てた祇園辻利のお茶の木が契機となり、昨年の京都へのお茶学習会に続いて、今回は茶聖と呼ばれる千利休の生誕の地、境を訪れることになりました。

「利晶の社」では茶室に入って、お点前体験をさせていただきました。裏千家流のお点前で、お辞儀からお茶や和菓子の頂き方、お茶の立て方まで教えて下さり、見かけより難しいお茶の立て方に悪戦苦闘しました。

お椀を眺めたり、床の間に飾られた花を愛でたり、日本の豊かで静かな自然と共に育まれた文化を肌で感じることが出来、貴重な体験をさせて頂きました。

お点前後は展示室で、千利休や与謝野晶子の生涯についての資料を見ました。茶道の三千家である「裏千家」「表千家」「武者小路千家」は千利休の孫の千宗旦の子供らが作った事など詳しく解説されていました。お点前体験の席でも、流派の違いでお茶を泡立てて頂く裏千家に対し、泡立てない表千家があるとお話しして頂いたことを思い出し、日本人の繊細な心の文化に触れるとの出来、改めて日本文化の奥深さに驚いた旅でした。実りの多い体験会になりました。

2018.10.28

秋まつり

晴明丘地域活動協議会主催の「晴明丘ハロウィン秋まつり」が晴明丘中央公園にて開催されています。晴明丘小学校PTA、晴明丘南小学校PTA、青少年指導員、女性部、社会福祉協議会、民生委員、晴寿会、食生活推進協議会など大勢の地域の方々のご協力により盛大に行なわれています。



地域園芸クラブは自然観察園で育てている
「勝間南瓜」を使って『勝間南瓜の春巻き』
を作っています。

当日は、朝6時から家庭科室を借りて400個の
春巻き作りにがんばっています



家庭科室で出来上がった春巻きを中央公園まで運び
これから揚げて販売開始です。



- ・春巻きは『美味しかった』と言うお声を頂き見事完売致しました。



これはカボチャで
『アトランティックジャイアント』
と言う種類です。
初めて観察園で育て見事に育って
くれました。
重さは8kgあります



収穫後は秋まつりの『おばけかぼちゃ』やクリスマスバージョンの
『サンタかぼちゃ』に変身しました。

